



事業番号	02 10 01	事業改善シート(令和2年度実施事業分)	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検
事業名	移住・交流推進事業		部局 企画振興部 課・室 信州暮らし推進課 実施期間 H15 ~ E-mail jiu@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)			
8つの重点目標	人口の社会増を実現		
総合的に展開する重点政策	3-1 信州と関わりを持つ「つながり人口」の拡大		

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿(予算編成時)	【現 状】 移住希望者一人ひとりに寄り添うため、三大都市圏及び県庁に移住専門の相談員を配置するとともに、「田舎暮らし『楽園信州』推進協議会」を中心に、市町村と一体的な移住施策を推進することで「移住したい県ランキング」で1位を獲得(株)宝島社「田舎暮らしの本」し、行政サポートによる移住者数は8年間で約3.4倍(H24年度:408人⇒R2年度:1,390人)となっているものの、社会減は拡大(H29年度:△739人⇒R2年度:△2,440人)。 また、首都圏への通勤の利便性向上や、地域活性化策の多様化などを背景に、二地域居住をはじめとする「つながり人口」として地域に関わるニーズが高まっている。									
	【目指す姿】<信州暮らしの基本方針> 『信州らしい働き方、暮らし方の提案をし、新しいライフスタイルを創る』『「移住したい県」NO.1から「暮らしてよかった県」NO.1へ』 ・信州で働きたい、暮らしたいと希望する移住希望者等を支援し、地域の特徴を活かした持続的な地域づくりの促進 ・信州に想いを寄せる方々とのつながりを強化し、県内地域とのつながりをデザインすることで地域活性化を促進 など 【実施内容】 ・「田舎暮らし『楽園信州』推進協議会」を通じた移住セミナー、相談会等の実施 ・地域課題解決に向け、つながり人口と地域が協働でプロジェクトを研究・実践するプログラムの実施 など									
指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]										
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況	事業コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度
1	移住者数(人)	2,315	2,323 ↑	2,426 ↑	2,800	未達成		前年度繰越	0	0
2	移住相談件数(件)	8,464	8,171 ↓	6,346 ↓	9,000	未達成		現計予算	56,270	105,980
3	週末信州人等登録者数(人)	190	251 ↑	302 ↑	350	未達成		合計(A)	56,270	105,980
4	都市農村交流人口(人)	622,925	580,179 ↓	173,853 ↓	669,000	未達成		うち一般財源	43,226	43,703
								決算額(B)	54,263	103,159
								職員数(人)	6	6
成果指標設定理由	移住・二地域居住者及び都市農村交流推進施策の効果を測る重要指標のため設定									
達成状況の分析	(No.1, No.3) コロナ禍を契機に、都市圏住民等を中心に地方回帰の流れが高まっていることを受け、移住者及び二地域居住を希望する者が増加傾向にある。 (No.2, No.4) 一方、緊急事態宣言を受けた移住相談窓口の一時的な閉鎖や人の移動に関する自粛等の影響から、相談件数及び都市農村交流人口は大きく減少した。									
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 三大都市圏でのきめ細かな相談に応じるための移住相談員を配置 ・配置箇所:東京、名古屋、大阪 ・相談件数3,749件(オンラインによる相談含む) 移住相談の様子 ▶ ✓ 三大都市圏で移住セミナー・相談会を開催 ・19回開催 延べ参加者数 323組 ✓ つながり人口の創出・拡大を図るための地域プログラムを実施 信州つなぐラボの様子 ▶ (「第3期信州つなぐラボ」) ・実施箇所:佐久市 ・プログラム参加者数15名、プログラム構築数3件 移住総合サイト「SuuHaa」 ▶ ✓ 長野県で「働く×暮らし」情報の包括サイトおよび二地域居住サイトの構築 「SuuHaa」「ニブンノナガノ」(令和3年3月サイト開設) 							  		

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	課題等	今後の方向性
	<p>本県への移住者数は増加傾向にあるものの、若年世代を中心に社会減が進んでいる。</p> <p>必ずしも移住をゴールとせず、地域との関わりをもち地域活性化に寄与する「つながり人口」の創出・拡大が必要。</p> <p>コロナ禍における事業推進体制の更なる整備が必要。働き方や暮らし方の多様化により、移住後を含めたきめ細やかな対応が求められ、相談段階から移住者に一層寄り添うことが必要。</p>	<p>社会増に向け、産業、農業などの他分野のほか、市町村、民間事業者等とも協働し、「仕事」と「暮らし」の情報をセットで発信する。</p> <p>「田舎暮らし『楽園信州』推進協議会」内に「長野つながりコンソーシアム」を設置し、外部のアドバイザーと協働しながら官民一体でつながり人口の呼び込みを図る。</p> <p>オンラインツールの活用や、移住相談受付実績のある先輩移住者を「信州暮らしパートナー」として委嘱し、幅広く移住相談に応じることで移住検討者の不安軽減を図る。</p>

事業番号 02 10 01 細事業一覧（令和2年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	移住・交流推進事業	部局	企画振興部	課・室	信州暮らし推進課
-----	-----------	----	-------	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
1	移住・交流推進事業	54,263 千円	103,159 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	NPO法人ふるさと回帰支援センター（東京・大阪）との連携	委託	東京：相談員2名の配置、資料ブース、相談専用スペースの設置 大阪：資料ブースの設置、出張相談の実施 【相談件数1,735件】
2	信州暮らし案内人の配置	直接	三大都市圏（東京・大阪・名古屋）および県庁内に移住相談等に係る総合窓口として、信州暮らし案内人を配置 【相談件数4,335件】
3	信州暮らし情報発信強化事業	委託	テレワークや副業など二地域居住に対する新たなポータルサイトのほか、移住、転職、新卒Uターン就職などの情報を包括するWebサイトを新たに構築（R3年3月17日サイト開設） 【アクセス数（R3.3.17～3.31）】 (1)総合情報サイト「Suuhaa」：78,195 (2)二地域居住サイト「ニブンノナガノ」：781
4	つながり人口活用事業	委託	佐久市内の地域課題解決に向け、つながり人口と地域が協働でプロジェクトを研究・実践するプログラムの実施を外部委託 【プログラム参加者数15名、プロジェクト構築数3件】
5	田舎暮らし「楽園信州」推進協議会事業	負担金	移住セミナーの開催、移住応援企業など受入体制の充実や移住ポータルサイト「楽園信州」による情報発信など市町村等と一体的な移住施策を実施するための協議会への負担金 【移住セミナー19回、「楽園信州」アクセス数 175,063】